

平成12年度東海・北陸地区国立学校等教室系技術職員合同研修

化学コース（工学部技術部企画・運営）

上記研修は、東海・北陸地区国立学校等の教室系技術職員に対し、その職務に必要な専門知識及び技術等を習得させることにより、地区全体の教室系技術職員の資質向上を図るとともに、技術職員相互の交流に寄与することを目的として本学が担当し実施された。

研修の実施に当たって本学総務部人事課より工学部技術部が依頼を受け、企画、立案、運営及び実施を工学部技術部が行った。

今回の研修内容は「環境問題」をテーマとして取り上げ、参加機関数10、受講者は19名であった。尚、日程と講義内容は以下のようであった。

第1日目（9月6日）

- 1) 講義「人事管理上の諸課題」
名古屋大学総務部
人事課長 井 敬祐
- 2) 講義「技術職員を取りまく諸問題」
名古屋大学大学院工学研究科長
後藤俊夫
- 3) 講義「環境触媒」
名古屋大学大学院工学研究科応用化学専攻
教授 服部 忠
- 4) 講義「セラミックスの機能と資源循環」
名古屋大学難処理人工物研究センター
教授 伊藤秀章
- 5) 講義「環境と粉体」
名古屋大学工学部・工学研究科技術部
前任専門技術職員 羽田野重信

第2日目（9月7日）

- 実習ガイダンス
実習（環境触媒及び反応生成物の各種分析器による測定）
実習項目1)「測定試料収集容器の製作（ガラス加工）」
名古屋大学工学部・工学研究科技術部技術専門職員 調子晴久
施設見学（株式会社 サンライト）

第3日目（9月8日）

- 実習
実習項目2)「反応生成物の同定（MS）」
名古屋大学工学部・工学研究科技術部技術専門職員 駒井槇一
実習項目3)「環境触媒の観察・構造（SEM, XPS）」
名古屋大学工学部・工学研究科技術部技術専門職員 高田昇治
施設見学（名古屋大学内研究施設）